

ACRECUP K-Car SPRINT Series 車両規定

■クラス分け

- ① UL Ultimateクラス(Tuned NA/Tuned Turbo)
- ② TB660 ノーマルタービンクラス
- ③ OP660 オープンNAクラス
- ④ ST660 NAストリートチューンクラス
- ⑤ NA660 旧2クラス相当

上記5クラスとする。

■エンジン系

◆エンジン本体

- ①を除き排気量の変更は不可。
- ①③カムシャフトなど部品の変更が可能。
- ①③④エンジン部品の旋盤加工/溶接/研磨等機械加工を認める。
- ②⑤ノーマルエンジン使用 一切の加工を認めない。

またエンジンを載せ替える場合は、車検証上で同一型式構造変更が必要ない場合であれば認められる。

ブローバイガス還元装置のホースを吸気系から取り外す場合は、排気量と同等以上の容量があるキャッチタンクを必ず取り付け、大気開放は禁止とする。

◆フライホイール

- ①～④：加工や変更を認める。
- ⑤：加工や変更を禁止する。

◆エンジンマウント

エンジンマウントは市販品に限り変更を認める。ただしエンジンマウント位置の変更、エンジンマウント本体の加工は認められない。

樹脂などを注入する程度の補強は認められる。 ※①は自由とする。

◆ラジエーター関連

ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認められる。水温計センサーを取り付けるための、ラジエーターホースへの加工も認める。ラジエーターファンを強制的に作動させる、ON/OFFスイッチの装着もクラスを問わず可能。

◆オイルクーラー関連

オイルクーラーの装着は認められるが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければならない。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやパッフル加工も安全であれば認められる。

◆バッテリー

バッテリー位置の変更は認められるが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定すること。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければならない。容量および取り付けブラケットの変更も可能だが、ボディにアースされていない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁すること。

◆ECU

- ①～④：フルコンを含めて変更が認められる。
- ⑤：スピードリミッターを解除するための製品のみ使用できる。純正コンピューターの書き換えは認める。

◆燃料系

燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着、安全タンクへの変更はすべて認められない。⑤のみインジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可とする。

燃料は通常のガソリンスタンドで購入できる製品に限り、レースガス等の使用は認めない。ガソリン添加剤は、市販品に限り使用できる。

※①は自由とする。

◆スロットルボディ

- ①～④：スロットルボディの加工や変更を認める。
- ⑤：スロットルボディの加工や流用を含む変更を認めない。

◆排気系

ナンバー付き車両の音量は公道車検に準じた数値を限度とする。各サーキットの音量規制以内に無い場合は走行不可とする場合がある。各自確認の上ご参加ください。

- ⑤：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー(フロントパイプ/センターマフラー/リヤマフラー)に限って変更が認められる。触媒およびエキゾーストマニホールドは純正を使用し、位置の変更や加工はすべて禁止。出口は後方のみとする。

■足まわりとブレーキ

◆使用タイヤ

全クラス 市販ラジアルを装着とする。(Sタイヤは禁止)

◆ブッシュ類

強化品への変更が認められる。ピロボールも使用できる。

◆スプリング

自由長やレートの変更は自由だが、サーキットまでの往復を含む公道走行時は9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でなければならない。

※レース中は最低地上高が9cm以上である必要はない。

◆ダンパー

倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められる。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できる。

◆サスペンションアームなどパーツの変更について

- ⑤のみ変更加工不可

◆制動装置

ボルトオンで装着可能なブレーキパッド/ローター/ホース/キャリパー/マスターシリンダーなどの装着が許される。またバックプレートの取り外しは認められ、マスターバックの取り外しは認められない。 ※ドラムブレーキからディスクブレーキへ変更する際は、必ず公認車検を取得し書類を持参すること。

◆ホイール

- A) タイヤとホイールは、いかなる場合も他の部分と接触してはいけない。
- B) レース終了後を含み、スリップサインが出てはならない。
- C) ホイールのバランスウェイトにはテーピングを施し、走行中に脱落しないように処置すること。
- D) 他車と接触したときのダメージを軽減するため、ロングタイプのホイールナットを先端がタイヤおよびホイールの最外縁部より飛び出してはならない。

■駆動系

◆クラッチ

ディスク/カバー/ホースの変更が認められる。

◆トランスミッション

- ⑤のみファイナルギヤを含め、変更が認められない。

◆ディファレンシャル

- ⑤のみ機械式LSDの使用は認められない。

◆駆動方式

- ⑤のみベース車両の駆動方式を変更することはできない。

◆A TからM TまたはM TからA Tへの換装

オートマチックからマニュアルミッションに変更を行った場合、ナンバー付き車両は必ず公認車検を取得しなければならない。

■ボディ

◆ボディ補強

- ⑤を除き、溶接等によるボディ補強を許可する。

◆ロールケージ

全クラス：6点式以上のロールケージ装着を推奨とする。

- ①を除きボルト止めとする

◆モノコック

- ①を除きモノコックの変更および改造は認めない。

■外装

◆自動車登録番号標(ナンバープレート)

レース中のみ取り外しや変更が認められる。

◆空力装置(エアロパーツ)

保安基準に抵触しない限り問題はないが、①を除きボディ幅が軽自動車のサイズを超えるフェンダーなどは認められない。

◆ガラス

フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されていたものと合わせガラスに限り認める。アクリルガラスはフロントとフロントドアへの使用は認められない。フロントおよびフロントサイドガラスへの塗装、色付きフィルムの貼り付け、ステッカーの貼り付けはすべて認められない。サイドおよびリヤガラスは保安基準に抵触せず、かつ視界の妨げとならない限り、色付きフィルムやステッカーの貼り付けを認める。 ※①は自由とする。

◆ドア

軽量ドアの装着、サイドドアビームの切断など加工はすべて認められない。①③に限り純正サイドドアビームと同等以上の強度を確保したサイドバーを装着した場合のみ、軽量ドアの装着、純正サイドドアビームの切断や取り外しが認められる。

◆牽引フック

クラッシュ時に車両を引き出せる強度のある牽引フックを前後に装着する事を義務とする。

■内装

◆エアコンおよびヒーター

⑤のみエアコンおよびヒーターの取り外しは認められず、いかなる場合においても正常に作動しなければならない。エアコンベルトの取り外しも禁止する。

◆補助メーター

電気式メーターに限り、追加メーターを装着することが認められる。ただし純正メーターは当初の機能を保持していなければならない。取り付け方法と位置に関しては、乗員の保護と視界の確保を考慮すること。

◆座席

バケットシートへの変更を認める。ただしシートを車体フレームへ直に取り付けることや、スライド機構がないシートレールは認められない。また6点式以上のロールケージ装着車両は、レース中に運転席を除くシートを取り外すことができる。

◆ステアリング

ステアリングボスを含め、保安基準に抵触しない範囲での変更が認められる。なおエアバッグ付き車両は、レース中はエアバッグコンピューターのコネクターを外し、作動をキャンセルさせなければならない。

◆シートベルト

シートベルトは確実な方法で装着しなければならず、シートレールへの共締めは禁止。 4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。